2024年度事業報告書

特定非営利活動法人　釜ヶ崎支援機構

Ⅰ事業期間

2024年月4月1日～2024年3月31日

Ⅱ事業の成果と課題

（１）法人設立25周年を迎え、これからの活動に向けて

1999年に設立し、2024年度で法人設立25周年を迎えました。25年間を振り返りながら、活動の成果の振り返りと現在も残る社会課題を見つめるとともに、これからの活動に向けて考える機会を作りました。その一環として設立25周年記念イベントも開催いたしました。

（２）自立援助ホーム設立に向けたクラウドファンディングの実施

2020年の若者向け総合支援付き居住支援を開始し西成区内で22室のワンルームアパートを借り上げ、2023年には若者向けシェアハウス「ヨリドコハウス（全5室）」も開設しました。2つの若者向けの住まいに関する支援を行っている中で新たに見えた支援の課題の解決と地域ニーズより、自立援助ホームの開設を決定し、その準備資金をクラウドファンディングで募集いたしました。施設予定地は既に準備が完了、行政へ開設申請を行っており、2025年度に開設予定です。

（3）地域移行支援事業の開始

大阪市福祉局の新規委託事業「ホームレス地域移行支援事業」を今年度より受託し運営しています。本事業はあいりんシェルター等で生活をしているホームレス状態の方を対象に一定期間（原則3ヶ月）住まいと食料を提供しながら、就労自立や生活保護受給などの生活に移行するための支援を行う事業です。また、地域生活の移行後の定着支援も実施します。2020年より当法人が自主事業で行っていた居住支援事業で得た知見を活かした事業運営を行っています。

・2024年度ホームレス地域移行支援事業　利用者数43名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全利用者数	1	8	20	22	21	22	22	23	25	26	27	29
地域移行支援	1	8	19	20	17	18	18	16	13	11	11	11
地域定着支援	0	0	1	2	4	4	4	7	12	15	16	18
支援終了	0	1	0	2	1	1	6	1	0	1	0	1
新規利用者	1	8	12	4	0	2	6	2	2	2	1	3

・利用者数年齢

18～19歳	0
20～29歳	0
30～39歳	3
40～49歳	9

50～59歳	13
60～69歳	13
70～79歳	5
80歳以上	0

平均年齢	56

https://note.com/daigo_nishinari/n/n8f84b615ab22https://note.com/daigo_nishinari/n/n8f84b615ab22

（4）プレイパーク事業、子ども体験活動企画事業への参画

同じ地域で活動する認定NPO法人こどもの里からの呼びかけで、西成区委託事業「プレイパーク事業」「子ども体験活動企画事業」に共同体メンバーとして参加いたしました。今まで直接的に子どもに関する事業を行ったことがありませんでしたが、中間的就労の場作りや私たちが普段関わる利用者の社会的つながりづくりが生まれることを期待して参画いたしました。両事業は西成区内の小・中学校や廃校を会場としてこどもたちの遊び場を作ったり、イベント型でこどもたちの学びの場を提供いたしました。

（5）中間的就労の場づくり

法人設立以来、釜ヶ崎で失業者や就労困難状態となった方などを対象とした仕事の場を作って来ましたが、近年の傾向として、就労ブランクが長かったり心身の状態にやや不安があり、いわゆる「一般就労」に就くことに少しだけ困難な方が少なくありません。そういった方を対象に段階的に就労の練習ができるような仕事＝中間的就労のニーズが高まっており、中間就労の場づくりに励んでおります。昨年は飲食店「ヨリドコキッチン」をオープンさせ、今年度はTシャツの印刷と販売を行う「電光印刷所」や週1回のランチ屋さん「またきてねランチ」などを展開いたしました。

（6）釜ヶ崎の夏祭り・越冬闘争に、資材準備・設営・経理等で参加しました。

夏祭りに関してはコロナ禍の影響でさまざまな制約の中規模を縮小して開催をしており、2023年度は台風直撃により1日のみの開催となってしまっていた中で、2024年度はやっと全日程通常開催を行うことができました。

Ⅲ事業の実施状況

（1） 就労機会提供事業

① あいりん地域高齢労働者就労自立支援事業

大阪府から「あいりん地域高齢労働者就労自立支援事業」を受託しました。

そのうち「あいりん地域外清掃業務」では、府立施設・府立高校・道路・河川等で、除草・清掃・剪定等の作業を行いました。

「西成労働福祉センター周辺交通安全警備業務」では、あいりん労働福祉センターに出入りする求人車両の誘導ならびに清掃作業、旧あいりん総合センター敷地内の清掃作業を実施しました。

両業務を合わせて、25,571人を雇用しました。

② あいりん日雇労働者等自立支援事業高齢日雇労働者社会的就労支援業務

大阪市からは「あいりん日雇労働者等自立支援事業」内「高齢日雇労働者社会的就労支援業務」を受託しました。

そのうち、「あいりん地域内及びその周辺の環境美化に関する作業」においては、あいりん地域内及びその周辺の道路清掃、側溝清掃、除草作業を実施しました。

「あいりん地域外の環境美化に関する作業」においては、市有地・道路・公園等での除草・剪定および清掃等、市立保育所でのペンキ塗り・剪定・修繕等の作業を実施しました。

全作業を併せて30,562人を雇用しました。

③ あいりん労働センター建物敷地内巡回業務

大阪労働局及び大阪府商工労働部より委託を受け、あいりん労働センターの維持管理のため建物敷地内巡回を実施しました。

④ その他請負業務

民間企業等から幅広く除草･塗装･剪定･鋼板塀に描かれた落書き消し等の作業を請負って実施し、釜ヶ崎の日雇労働者やホームレス生活者の就業機会の確保に努めました。

（2） 居場所提供事業

① あいりん日雇労働者等自立支援事業居場所支援

夜間シェルターの運営

大阪市から委託を受けて、あいりんシェルター管理運営業務を実施しました。開所日数は356日。のべ利用人数 42,662人の方が利用しました。新規事業である地域移行支援事業と連携したことで、シェルターから居宅に移行することができた方も増え始めています。

昼の居場所棟の運営

大阪市から委託を受けて、あいりんシェルター内昼の居場所棟（禁酒の館）にて、居場所・洗濯機・シャワー等の提供を行いました。

② あいりん日雇労働者等自立支援事業越年時支援

2024年12月29日から翌1月6日早朝まで、あいりん地域に居住する単身日雇労働者であって、年末年始に仕事を得られないため自ら食及び住を求めがたい方164人（簡易宿所入室含む）に対し、あいりんシェルターにて宿泊場所を提供するとともに食品・日用品等を支給しました。コロナ禍以降、感染症対策のため12月30日以後に来所し、結核健診の受診ができなかった方を対象に簡易宿所に入所していただいていましたが、インバウンドの影響で簡易宿所を抑えることができず、サポーティブハウスなどに協力していただき部屋を準備することができました。

また、地域の日雇労働者、生活困窮者からスタッフを採用し、就労機会を作りました。

（3） 相談・サポート事業

① 就業支援事業

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、就労自立を目指す人への就職相談・就職支援事業を実施し、求人情報の提供・求人企業への紹介、面接の受け方および履歴書作成の指導をしました。履歴書用の写真撮影・提供、携帯電話・自転車・スーツ等の貸し出しを行いました。南事務所にパソコンを設置して、ハローワークインターネットサービスの求人検索用に提供しました。2024年度新規登録人数は123人、相談実人数は247人、相談件数は1,180件、常用就職実績34人、臨時就職延人数は2,381人となりました。

また、常用就職実績34名の内、常用は25名、臨時・軽易は9名でした。常用25名の内13名が住込みの派遣に就職された方でした。本年度の特徴としては、令和6年4月から新たに「ホームレス地域生活移行支援事業」がスタートしたのに伴い、その担当部門からの要請をうけ、事業に繋がった方の内、25名に対し就労支援を行いました。昨年以上に他部門との連携を促進することでより多くの年齢層の方の就労支援を実施できた年度となりました。

今年度も引き続き、大阪ホームレス支援センターからの要請に基づき、パソコン初心者向けの教室を開催しました。これまでの活動の蓄積を活かしつつ、受講者一人ひとりのスキルや目標に応じたサポートを行い、実践的な学びを提供することを目指しました。

今年度は、特にタイピング練習や基本操作の定着に重点を置きました。インターネットの利用経験はあるものの、基礎からの学習が必要な受講者に対して、繰り返しの練習を通じて確実なスキルアップを促しました。また、実際の仕事で活用できるようなExcelの基本操作や、効率的な検索方法、メールの使い方なども取り入れ、応用力の育成にも努めました。

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
受講者数	16 名	16 名	17 名	16 名	17 名	15 名	14 名	18 名	16 名	16 名	15 名	16 名
開催回数	毎月 4 回開催(のべ 48 回)											
のべ人数	合計 192 名											

② 就業開拓推進事業

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、支援対象者に応じた個別の求人開拓、地域への貢献活動となる仕事の開拓、企業向けの広報宣伝活動を行いました。

③　あいりん地域不安定労働者就労支援事業

就労経験や職業スキルの不足などにより、不安定な就労状況に置かれているあいりん 地域労働者（５５歳未満対象）や大阪市立自立支援センター舞洲の利用者の方に対し、多様な求職者ニーズに対応した就労支援が必要であるという考えから、一般的な就労が難しい方が本格的な就労に向けた準備として、就労体験や軽作業から従事 できる「中間的就労」の場をご提供いただける協力事業所と連携し、自立支援等の準備を行いました。

④　あいりん日雇労働者等自立支援事業相談支援

大阪市から「あいりん日雇労働者等自立支援事業」内「相談支援」を受託、実施しました。あいりん地域の日雇労働者等に対し、特別清掃やあいりんシェルターと連携しつつ、健康相談や生活相談等を行い、就労自立、野宿からの脱出を助ける支援を行いました。就業支援員等から現場作業のようすを報告してもらいながら、体調が思わしくない／高齢などの方を相談し、寄り添い型の支援を行いました。また、歯科相談会・健康相談会を医師・看護師・保健師との協働で開催しました。

実人数3,304人、のべ11,460人の相談を行いました。相談のべ人数の内訳は、就労相談342人、生活保護相談912人、健康・保健支援1,286人、その他相談・各種支援8,920人の実績でした。

⑤ 大阪府済生会と協働した健康診断

例年通り2024年10月22日～10月24日までの3日間　済生会健診がおこなわれました。

相談支援事業部では、高血圧による再検査、採血の結果返しで、社会医療センター受診が必要な方のフォローをおこないました。年々受診者は減少傾向にありますが、特掃従事者の健康への意識は以前より高まってきていると感じます。恒例となっている健診ですが、予め自身の通院先で健康診断を受けた結

果を持参される方が年々増えつつあります。

（4） 社会的雇用創出事業

① 自転車リサイクルシステムの構築

阿倍野区文の里商店街にあるチャリティ自転車ポタリンを経営しました。経営状態の見直しや新しい取り組みに向けて経営の会議を月１回開催しています。

また、内職センターで内職仕事として研修を行い、バラシ作業や塗装作業などを行うようになりました。

② 公園管理就労体験事業

住之江公園においては大代ゼンテックスと、住吉公園においては美交工業と、都市公園管理共同体を構成し、指定管理者として運営の一端を担いました。

③ 公園管理経験者訓練事業

住之江公園において灌水、除草、樹木剪定、植栽などの作業に、園芸講習の経験者等が従事しました。

④ 内職作業提供事業

民間企業からの受注により、就労の前段階に生活リズムを整えるなど準備期間が必要な方、疾病や障がい等のために、すぐには就労に結びつきにくい方に対して、内職作業を提供しました。作業は紙折り作業、古着の毛玉取り、自転車リサイクル、カードホルダーの磨き作業などを行いました。

（5） 地域活性化事業（西成版サービスハブ構築・運営事業）

2019年度より大阪市西成区の委託事業として生まれた事業です。本事業は、西成区で生活保護を受給している15歳以上を対象とし、就労支援や生活支援、社会的つながりづくりを実施しています。2024年度より「ひと花プロジェクト」と合併し、ヨリドコ西成連合体（サポーティブハウス連絡協議会、こえとことばとこころの部屋、まちづくり今宮、山王訪問看護ステーション、釜ヶ崎支援機構）が運営を行っています。

2024年度の新規利用者数(15歳～64歳)は55名、前年度から継続している方を含めると110名が利用しました。平均年齢は41歳と若年層の利用者が多いことが特徴的です。65歳以上の利用登録者数は33名でした。

自身で求職活動をするも就労に結びつかない方、短期離職を繰り返している方、就労ブランクがある方、引きこもり状態など様々な背景の方が利用されています。

支援実施件数(延件数)

面談	電話面談	メール面談	居宅訪問	通院同行	同行支援 (役所、法律相談、不動産屋など)	就労支援関連 (ハローワーク同行、事業所見学など)
1405件	219件	368件	282件	108件	118件	641件

居場所：7,140人(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者 (卒業生含む)	200人	193人	198人	172人	217人	232人	248人	251人	274人	241人	232人	277人
65歳以上	238人	241人	272人	263人	210人	176人	182人	200人	173人	152人	165人	169人
登録者以外	217人	208人	187人	195人	145人	135人	132人	137人	134人	169人	156人	149人

若年層の就労支援として「電光印刷」という印刷屋を始めました。絵を描く、描いた絵を編集する、印刷作業をする、企画を考えるなど、それぞれが得意なことを生かして取り組んでもらいます。

最初の取り組みとして「チャリティーTシャツ」の制作、販売を行いました。「こどもの里」「山王こどもセンター」「山王おとなセンター」「サービスハブ西成」に通うこどもたち、おとなたちが描いた絵をTシャツに印刷、作成し、売上の半分を各団体に寄付しました。デザインを独学で学んでいる利用者が、Tシャツのデザインをアレンジしたり、「チャリティーTシャツポップアップ店」の企画や運営を一緒に行ってくれたりと大活躍。インスタグラムの運営も自主的に行ってくれました。

今年度は、「ひと花プロジェクト」との連携により、若年層から高齢者まで、幅広い年代の方々が交流できるよう、1階に「居場所」を移動し、新たな取り組みを試みた1年となりました。初めての試みということもあり、試行錯誤を重ねながらの運営となりました。また、サービスハブ西成の存在を知ってくださる地域の方々も徐々に増え、市営住宅や社会福祉法人から中間的就労のご依頼をいただく機会もあり、地域とのつながりをより深めることができました。その中でも、特に印象に残った出来事が2つあります。1つ目は、1年前に卒業した利用者の方が、現在勤務している団体のこどもたちと一緒にプログラムを行えないかと声をかけてくださったことです。当日は、サービスハブ西成のテラスで焼き芋を焼き、「モルック」をして一緒に遊ぶという時間を過ごしました。2つ目は、偶然にも複数の卒業生が同じ日に「ヨリドコキッチン」の店舗に食事に訪れ、まるで同窓会のように思い出を語り合い過ごしました。これらの出来事を通して、卒業生がサービスハブのことを大切に思い、ふとした時に立ち寄ってくれる「居場所」になっていることを実感し、深い感慨を覚えました。今後も、誰もが安心して戻ってこられる、居場所を続けていきたいと思います。

（6） その他の事業

① 「ビッグイシュー」販売支援事業

ビッグイシュー本社より遠い大阪南部での販売者の利便をはかるため、仕入れ中継点としての役割を果たすとともに、さまざまな相談に応じました。販売希望者を受け付け、ビッグイシューへの橋渡しを行いました。

② ネットワーク推進

西成区関連では「区政会議」「あいりん地域まちづくり会議」「包括支援センター運営協議会」に委員として参加しました。あいりん地域モデルケース検討会議に参加しました。

大阪市社会福祉協議会に評議員として参加しました。

西成区社会福祉協議会、今宮社会福祉協議会、ＮＰＯ法人まちづくり今宮に理事として参加しました。

「ホームレス支援全国ネットワーク」に副理事長として参加しました。

「区政会議」では全体会で副議長、にぎわい部会では議長として参加しました。

「日本ソーシャルインクルージョン推進会議」「共生型経済推進フォーラム」「ＮＰＯまちづくり今宮」に参加しました。

ワーカーズコープとの提携関係を深め、月１回の定期協議を行い、情報の共有を進めました。

③ 炊き出しによる食事の支援

越冬闘争実行委員会、釜ヶ崎就労・生活保障制度実現をめざす連絡会（反失業連絡会）と協働し、炊き出しによる食事支援を行いました。

（7）社員総会の開催状況

第25回社員総会

日時　2024年6月15日　午後５時10分～5時30分

場所　釜ヶ崎支援機構　南分室2階

会員21名中18名（内委任状10名）が参加して第２５回社員総会を開催しました。

事業報告･会計報告･事業計画･予算等を審議し、採択しました。

（8）理事会の開催状況

今年度理事会は2回開催され、当法人の活動の大方針について論議し決定しました。

●第36回理事会

日時　2024年6月１５日　午後4時～5時　　場所　釜ヶ崎支援機構　南分室２階

●第37回理事会

日時　2024年10月28日　午後5時～6時　　場所　釜ヶ崎支援機構　北事務所